各区の口絵について　―明治二十二年の景観図―

はじめに　昭和二十九年（一九五四）の合併以後の村図は、いくつか製作され残されてもいるが、合併前の旧村時代の村図は少なく、明治時代の村図はない。ただ、明治七年に旧村が成立するときに、旧村が作った大きな村地図は、明盛村の五区のみ残っている。

今回は、明治二十二年（一八八九）の土地台帳の一筆ごとの土地利用を調査し、各区のすがたが分かるように、口絵にある村落景観図を作製した。なお、地字（ちあざ）ごとにまとめたものが地字界図である。

方法と手順　まとめに当たっては、区の村落誌編纂（へんさん）委員と調査協力委員で次のような手順で行なった。

1　土地台帳の一筆ごとの土地利用を、地番とともに書き出し表を作る。

2　表を基に、書き出した一筆ごとの土地利用を、何枚かの切図（きりず）に写し色を塗る。

3　何枚かの切図を合わせて、区ごとに一枚の地図に仕上げる。

原稿・印刷　各区でまとめた地図を、編纂室で次のような手順で原稿にした。

1　大きな紙にまとめた地図を、デジタルカメラに分割して写す。

2　分割した地図を、パソコン上の圃場（ほじょう）整備前の「三郷村地籍集成図」上に写し出し、それを参考にして一筆ごとに描く。

3　できあがった原図を、編纂委員が検討・修正し、それを基に原稿を仕上げる。

4　印刷所は、編纂室で仕上げた原稿に道路名・堰（せき）名などを記入し、色調に配慮して印刷・製本する。

おわりに　土地台帳をまとめることは、なかなかの難事業で、口絵の村落景観図と地字界図を仕上げるのに約一年半を費やした。景観図をまとめるのには、区によっては切図の枚数が二〇枚を超すところもあり苦労した。また、編纂室のパソコンで原図を原稿に作製するときには、「地籍集成図」と切図の年代が違うために腐心した。したがって、次のことなどに留意されたい。

1　道路・堰の位置、曲がりなどに、明治二十二年と若干の違いがみられるところもある。

2　区の境界や範囲が入り組んでいるため、範囲が重なり合って表現されているところもみられる。

3　道路・堰名などは、主なもののみ記してあるので、昭和二十二年の村落景観図などを参考にされたい。

なお、東小倉・室町区は、大正になって誕生した区なので、平成十四年の三郷村図に、開墾後の家屋の変遷が分かるように記した。

目次

刊行のことば　三郷村長　西山　馥司……Ⅰ
三郷村誌刊行会長
凡例……Ⅲ
各区の口絵について　―明治二十二年の景観図―……Ⅵ
村の成立と発展のあらまし……1
一　北小倉　口絵・本文・年表……11
二　南小倉　口絵・本文・年表……63
三　東小倉　口絵・本文・年表……115
四　室町　口絵・本文・年表……159
五　野沢　口絵・本文・年表……199
六　上長尾　口絵・本文・年表……251
七　下長尾　口絵・本文・年表……303
八　榆　口絵・本文・年表……355
九　住吉　口絵・本文・年表……407
十　七日市場　口絵・本文・年表……459
十一　一日市場　口絵・本文・年表……511
十二　二木　口絵・本文・年表……563
十三　及木　口絵・本文・年表……615
十四　中萱　口絵・本文・年表……667
付図　一　明治二十二年の地字界図……719
付図　二　昭和二十年ころの村落景観図……733
地域で残しておきたい景観……749
別冊付図　三郷村文化財地図
執筆等分担……753
史料・資料提供者……754
参考史料・文献……755
三郷村誌編纂委員会名簿……758
三郷村誌刊行会名簿……760
三郷村誌編纂委員会事務局……763
あとがき……764